

# グアム「移転」協定に反対する請願

衆院議長殿

参院議長殿

2009年

クリントン米国務長官と中曽根外相が調印した「沖縄駐留米海兵隊のグアム移転に関する協定」は、米領であるグアムに米軍基地を建設するために日本が61億ドル（財政支出分28億ドル）もの巨額の負担をするという世界に例を見ない屈辱的な協定です。

この協定は、沖縄の海兵隊のグアム移転による県民の負担軽減を口実にしていますが、現実には沖縄では逆に基地強化が図られています。また日本が提供する資金は、グアムでの米空軍、海軍の基地強化にも使用されるなど、米軍のすすめるグアム基地強化への資金提供に他なりません。他国の軍事基地建設に資金を提供するなど前代未聞の暴挙です。

また協定は、グアム移設と国内での名護・辺野古の新基地建設など米軍再編・強化の計画（ロードマップ）の実現を再確約し、沖縄県民はじめ国民が拒否している基地建設を「条約化」し、押しつけるもので許せません。

日本国民が雇用とくらしの未曾有の危機のなかで苦しむ事態にまともな対応策をとらない一方で、国民の税金である巨額の予算を米軍のためにつぎ込む協定は断じて許すことはできません。したがって、グアム「移転」協定の国会承認に反対します。

## 【請願項目】

- 海兵隊グアム「移転」協定を国会で承認しないこと。
- 辺野古の新基地建設をはじめ、米軍基地の再編・強化計画をやめること。

氏名	住所

【取り扱い団体 安保破棄中央実行委員会】